

日銀の視点

お金を稼ぎ、ためたり増やしたり、時には借りたりしながら、上手に使うことは、目の先の生活を豊かにするためにも、将来の大きな支出や老後に備えるためにも、全ての人のとって大切だ。また、金融トラブル・詐欺に遭わないことも重要だ。しかし、これらのために必要な知識を、皆さんは体系的に学んだことがあるだろうか？ 私自身、若い頃に学んでおきたかったといまさらながらに思う。

近年では、金融教育の重要

日銀水戸事務所長 上野 淳

豊かな人生支える学び

性が認識されてきており、学校での教育内容が拡充されたり、政府の「新しい資本主義」関係施策の中でも「金融経済教育の充実」が掲げられたりしている。こうした中、オンラインでいつでもどこでも、無料で、お金の基本を一通り

務局を務めている金融広報中央委員会のほか、金融庁、消費者庁など、金融経済教育に関わる官庁や団体が連携し、有識者の意見を踏まえて制作されており、内容の中立性や信頼性が高い。2021年11月から開講されているが、今

月からは、登録せずにすぐ視聴することも可能となった（この場合、修了証は発行されない）。講座は、6分野18テーマ。1動画当たり15分程度と短いため、隙間時間にスマホなどで手軽に視聴できる。主に大

学生・若手社会人を対象としているが、高校生や一般社会人にも参考になる内容だ。例えば、昨年4月に成年年齢が18歳に引き下げられた中、「消費者トラブルに遭わないために」は、高校生にも極めて有用である。資産運用を始めたい一般社会人の方には、「資産運用」、「投資リスクの管理」などがニーズにかなうであろう。最近話題のNISAについて知りたいという方には、ぜひ「NISA」という講座がある。学校で金融教育に携わる先生方が、知識を身に付けたり、教え方のヒントを得るうえでも参考となる。一定の手続き・条件の下、企業などにおいて社員向け研修に用いることも可能だ。

「マネビタ」には、私どもが事務局を務める具金融広報委員会のウェブサイト（知るぽると茨城）などからアクセスできる。ぜひ活用いただきたい。

（次回は11月11日掲載）

学ぶことができる「マネビタ」という動画講座があるので、紹介したい。日銀の植田和男総裁からも、証券投資の日（今月4日）に向けたメッセージの中で紹介された教材だ。

「マネビタ」は、日銀が事

「マネビタ」は、日銀が事務

事務

事務